

ナンバリング		授業科目名(科目の英文名)					区分・【新主題】/(分野)		授業形式					
E111B008		国語科指導法(小) (Methodology of the Japanese Language and Literature Teaching(elementary school))							対面					
必修選択	単位	対象年次	学部	学期	曜・限	主に使用する言語	その他に使用する言語	担当形態						
必修	2	2	教育学部	後期	金1	日本語		単独						
担当教員	氏名 花坂 歩													
	E-mail hanasaka-ayumu@oita-u.ac.jp 内線 7534													
授業の概要	小学校における「A話すこと・聞くこと」、「B書くこと」、「C読むこと」を取り上げ、指導案作成、模擬授業等に取り組みながら、授業実践力の向上を目指す。													
具体的な到達目標							DP等の対応(別表参照)	1	2	3	4	5	6	7
目標1	子供の認識や思考、学力などの実態及び適切な評価の方法を理解している。							○						
目標2	学習指導要領における国語科の目標及び主な内容並びに全体構造を理解している。								○					
目標3	情報機器及び教材の効果的な活用を考えながら、学習指導案を作成できる。									○				
目標4	模擬授業等の実施とその振り返りを通して、学校改善の基礎的資質を身に付けている。										○			
目標5														
目標6														
目標7														
目標8														
目標9														
目標10														
各DPへの関連度(計10)								2	3	3	2			
授業の内容														
1 国語科の目標														
2 国語科の内容														
3 知識基盤社会における「知識及び技能」の重要性														
4 「A話すこと・聞くこと」の目標と評価														
5 「A話すこと・聞くこと」における言語活動の充実														
6 「A話すこと・聞くこと」の授業実践研究～指導案作成と模擬授業を通して～														
7 「B書くこと」の目標と評価														
8 「B書くこと」における言語活動の充実														
9 「B書くこと」の授業実践研究～指導案作成と模擬授業を通して～														
10 「C読むこと」の目標と評価														
11 「C読むこと」における言語活動の充実														
12 「C読むこと」の授業実践研究～指導案作成と模擬授業を通して～														
13 情報機器等の効果的な活用法														
14 幼小中高の連続性を考えた指導の重要性														
15 これからの時代に求められる国語力														
ラーニング	A:知識の定着・確認	○	言語活動を体験したり、話し合いに取り組んだりなどするとともに、各				工夫その他の	特になし。						
	B:意見の表現・交換	○	回の終わりに300字の小考を課し、主体的な学びとなるようにする。											
	C:応用志向	○												
	D:知識の活用・創造	○												
授業時間外学修の内容と想定時間	準備学修	学修予定の学習指導要領解説を読み、概要をノートにまとめておく。また、都道府県教育委員会のホームページ等を閲覧し、推奨されている指導計画などを概観しておく。(15h)												
	事後学修	解説・演習を終えた部分の学習指導要領解説を読み返し、ノートの加筆修正に取り組む。また、都道府県教育委員会のホームページ等を再度閲覧し、推奨されている指導計画の改善点を検討する。(30h)												
	想定時間合計	45												
教科書	Web版「小学校学習指導要領」(平成29年3月告示 文部科学省)、Web版「小学校学習指導要領解説国語編」(平成29年6月 文部科学省)													
参考書	『月刊国語教育研究』(日本国語教育学会編)などを中心に、各回の授業内容に即した最新の教育事情を、適宜、資料とする。													

成績評価の方法及び評価割合	評価方法	割合	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10
	各回の小考(300字)	40%	○	○	○	○						
	言語活動（指導案、模擬授業等）	20%	○	○	○	○						
	レポート	40%	○	○	○	○						
注意事項	教科書の「小学校学習指導要領（平成29年3月告示 文部科学省）」については、「小学校学習指導要領解説 国語編（平成29年6月 文部科学省）」によって代替可能である。											
備考	特になし。											
リンク	URL											
担当教員の 実務経験の有無	○											
教員の 実務経験	およそ10年の公立高等学校の教諭経験あり。											
実務経験を いかした教 育内容	現場実践を念頭において指導案作成、模擬授業を指導する。											